

# 森林環境教育の活動とは…

「森林の中での～」「森林についての～」「森林のための～」の3つが一連のプログラムとして考えられていることが大切です。

## 事前学習

森の中での活動について話し合い、行動を計画する。調べ学習する。安全対策を講じる。

## 体験

要素を組み合わせて展開すると総合的な学習になる。経験豊かな地元の方の協力を得ると社会体験にもなる。

## 事後学習

体験をふりかえり、気づきと課題を整理する。調べ学習する。考えをまとめ、表現する。

要素

1

## 森を知る、体感する

ねらい

### 森の多様性や自然の仕組みに触れる

森で工作の材料集め／小さな森をつくる／森の樹の四季（観察ノート）／森の遊び、森のゲーム／樹や葉の形はどう違う？／森の花、実、生きものの関係調べなど

要素

2

## 森の恵みを利用する

ねらい

### 森と人とのかかわりを知る

木や森の材料でものづくり（つる細工、紙すき、草木染め、自然工作、楽器、葉しおりなど）／薪をつくる、炭を焼く／山菜、きのこなどを育てる、収穫する／森の恵みで料理をつくるなど

# 体験の要素

要素

3

## 森を育てる

ねらい

### 育てる作業を体験し、その意味を知る （作業で出た材料の利用法も考える）

苗木を育てる／苗木を植える／下草刈り／つる切り／除伐／間伐／枝打ち／落葉、落ち枝を集める／森の育て方を調べる／森を育てる人を取材／森を育てた歴史調べなど

要素

4

## 生きる力を育む

ねらい

### 人間が生きる本質的な力を育む

計画を立てる／手や体を使う／五感を使う／地図を読む／野外生活をする／互いに助け合う／文化や生活の知恵を学ぶ／ものをつくる／山の自然にふれるなど

（森林環境教育をはじめよう（全国森林組合連合会 H16.3刊）を参考としました）